

## 建学の精神

豊かな知性と誠実な心を持ち社会に貢献できる人材を育成する

## 3つのポリシー

愛知産業大学は「建学の精神」に則り、育成すべき人材像を明確にし、資質・能力獲得のために適切なカリキュラム編成、体系的・組織的な教育活動、及びこれにふさわしい学生を受け入れるための入学者選抜の実施を目的に、3つのポリシーを策定しています。

### □入学生受入方針(アドミッション・ポリシー)

愛知産業大学では、各種産業に関する知識と学術を授けるとともに、専門の技能・理論を学び、応用に発展させる力をつけ、人格の完成を図り英知と勤勉さを高め、産業及び文化の発展に貢献する人材を育成しています。そのために、基礎的な知識・教養を持ち、論理的に考え、他者とのコミュニケーションができること、そして自分の分野の専門知識・技能を身につけ、産業・地域・生活の発展に貢献でき、夢の実現に意欲をもつことが求められます。したがって、文系や理系にとらわれず高等学校において幅広く学習し、コミュニケーション能力を備えていることを重視します。そのため入学試験では、文系・理系科目の基礎知識や能力を求めますが、知識を単に有することよりも、持っている知識を関連づけることや展開する能力を重視します。

### 【造形学部】

造形学部では、産業・地域・生活における建築及びデザインという造形行為を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。

#### ◇造形学部 建築学科

建築学科では豊かなインテリアから建築環境の創造と保全を通して、地域産業や生活に貢献できる人材を育成することです。そのために、デザイン・情報・建築の専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、社会や生活に常に関心を持ち、良いものや美しいものに敏感で、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般選抜・大学入学共通テスト利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。学校推薦型選抜・総合型選抜では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有すると認めた人物に対して行い、職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人出願者には、建築学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。

#### ◇造形学部 スマートデザイン学科

スマートデザイン学科では、確かな人間理解と生活感覚をもとに、IT社会における産業と暮らしのあり方についてAIを利用し、IoTでつながるものやことを創造できる人材を育成することです。そのために、デザイン・情報・建築の専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、社会や生活に常に関心を持ち、良いものや美しいものに敏感で、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般選抜・大学入学共通テスト利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。学校推薦型選抜・総合型選抜では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有すると認めた人物に対して行い、職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、スマートデザイン学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。

### 【経営学部】

経営学部では、複雑化する現代社会に対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活に貢献するビジネスパーソンを育成します。そのために、専門知識を身につけた職業人を目指して、企業の実業や経営などの夢の実現に挑戦する意欲が求められます。

#### ◇経営学部 総合経営学科

総合経営学科では、産業・地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献するビジネスパーソン、アスリート、生活者を育成します。そのために、基礎的な知識・教養を持ち、論理的に考え、他者とのコミュニケーションができ、企業の実業や経営などの夢の実現に挑戦する意欲を持ち、将来的に商工業・地域・文化・スポーツなどの分野におけるマネジメントに従事することを目指すことが求められます。より具体的には、会社運営に関わるコスト意識を持ち、組織の効率的な運営方法や普段利用している商品の販売方法や店舗経営に興味を持っていることが求められます。したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般選抜・大学入学共通テスト利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。学校推薦型選抜・総合型選抜では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有するかの判断をします。職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、総合経営学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。

□入学者受入方針

評価の観点 と項目	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力等	行動力・協調性
	入試区分	各学科・科目の学習 記録 全体の評定平均値 学科試験の得点 共通テストの得点 資格取得状況	資格取得状況 面接試験の得点 小論文の得点 特別活動の記録 指導上参考となる 諸事項 課外活動
学校推薦型選抜 [指定校]	◎	◎	◎
学校推薦型選抜・公募[一般]	○	○	◎
学校推薦型選抜・公募[専門・ 総合学科]	○	◎	○
総合型選抜	○	◎	◎
一般選抜	◎	○	○
大学入学共通テスト利用入 試	◎	○	○
大学入学共通テストプラス 入試	◎	○	○

□学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

愛知産業大学では、幅広い知識・教養を身につけ、豊かな感性を持ち、論理的に物事を考え、他者とのコミュニケーションができ、なおかつ専門的知識を身につけて、産業・地域・生活の発展に貢献できる就業力を持った者に対して学士を授与します。

【造形学部】

造形学部では、産業・地域・生活における諸問題に関心を持ち、そこにあるさまざまな問題を発見し、建築及びデザインの実践的技  
能と知識を身につけて社会に貢献できる者に対して学士(芸術)を授与します。

◇造形学部 建築学科

建築学科では、高度化する現代社会に対応できるように、建築の基本から物事を順序立てて進める能力を持ち、多様な表現を用  
いて計画を説明できる能力を身に付け、多数の人々と協働できる知識・技術・経験を修得することを目的としています。このため、  
以下の点に到達している者に学士(芸術)を授与します。

- ・設計・設備・構造・施工・インテリアなどの基本的事項を理解している。
- ・住宅建築および住環境について理解し、住宅について必要な知識と能力が使える。
- ・建築の産業や仕事に関わる情報を取得して伝達することができる。

◇造形学部 スマートデザイン学科

スマートデザイン学科では多様化する現代社会について知識を身につけ、情報テクノロジーを含めたトータルなデザインを通して  
産業・社会・生活をより良きものとする提案ができる知識と能力を身につけることを目的としています。このため、以下の点に到  
達している者に学士(芸術)を授与します。

- ・産業・地域・生活に存在する課題を発見し、そこに関わる人々に理解できるように説明することができる。
- ・産業・地域・生活に存在する課題について、情報テクノロジーを含めたトータルなデザインの知識を通して解決方法を立案す  
ることができる。
- ・情報テクノロジーを含めたトータルなデザインを実践するために必要な知識と技能について理解し、それを修得するために行動  
することができる。

【経営学部】

経営学部では、複雑化する現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・  
地域・生活における組織や地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献できる者に学士(経営学)を授与します。

#### ◇経営学部 総合経営学科

総合経営学科では、複雑化する現代社会における、ビジネスシーンや暮らしの環境で生じる課題解決やそのために求められるマネジメントに対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献するビジネスパーソン、アスリート、生活者になれることを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士(経営学)を授与します。

- ・利益や損失につながる仕組みについて理解し、分析できる。
- ・会社組織の成功や失敗、スポーツチームの勝ち負けについて、その運営に関わる多角的観点から理解し、活用できる。
- ・人気の商品やショップがどのような企業戦略のもとに生み出されてきたのかを理解し、応用できる。

#### □教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

愛知産業大学では、各学部・学科の専門知識を修得する科目を設定すると同時に、人文・社会・自然、語学、情報、キャリア等の科目を体系的に編成し、主体的に学修に取り組むことが可能な、学部学科を跨いだ実践的な共通専門科目を設定しています。

#### 【造形学部】

造形学部のカリキュラムでは、造形に関する専門知識を修得する講義だけでなく、現代社会で行われている造形に関する建築実務、情報社会におけるデザイン実務の技能を修得する実技授業を設定し、専門知識を実践で確かめて広く共有するための演習授業を設定しています。

#### ◇造形学部 建築学科

建築学科のカリキュラムでは、学生の主体的な学びにより知識・技能の修得とその活用を目指し、デザインのみならず施工・営業・管理も視野に入れた実践教育を行い、社会で役立つ実学を修得できるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた3つの目標を達成するため、以下のような学修をできるように設定しています。

- ・住宅と住環境について学び、実践的な設計技能を身につけさせる住宅設計やインテリア設計を行います。
- ・建築空間への興味・関心・疑問の喚起により修学意欲の向上を図る学修をします。
- ・建築を学問ではなく身近なこととして感じさせる生活に密着した体感授業を行います。

#### ◇造形学部 スマートデザイン学科

スマートデザイン学科のカリキュラムでは進歩・変化が著しい情報工学の分野における動向をつかむため、企業関係者や研究者の声を聞く講座を開講するなど、最新の情報を取り入れるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた3つの目標を設定するため、以下のような科目を設定しています。

- ・デザインマネジメント論、人間中心デザインなど、IoT、情報デザインを行うための社会的知識、教養を養う科目を設定しています。
- ・マーケティング演習、プロトタイピングなど実際の産業・地域・生活にある事例を使った実践的なデザインのための実技、演習科目を開講しています。
- ・機械学習基礎、データマイニング、ロボティクス・システム論など、IoT、情報デザインを行うために必要な工学的知識、技能を修得するための科目を設定しています。

#### 【経営学部】

経営学部のカリキュラムでは、経営に関する専門知識を修得する講義、社会の中で実際の組織がいかに効率的に活動しているかを学ぶ実践的授業、修得した知識を現実の問題に応用する課題解決型の授業を設定しています。

#### ◇経営学部 総合経営学科

総合経営学科のカリキュラムは、世の中の身近な事例を用いながら、経営に関する専門知識を修得できる講義や企業の社長の生の声を聞く講座を開講するなど、実践的な経営スキルを身につけられるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた3つの目標を達成するため、以下のような科目を設定しています。

- ・企業の損益の仕組みを理解する方法、すなわち、組織内のお金の流れを記述する簿記やそれをシステム上で処理するためのコンピュータ会計、さらには資金管理法について研究する経営財務論、企業が守るべき法律などについて学ぶ科目。
- ・経営管理論を基礎とし、成功するビジネスモデルの策定を目的とする経営戦略論や経営組織論、スポーツチームの運営方法について研究するスポーツ指導論やスポーツチーム経営論、組織を取り巻く社会経済の影響などについて学ぶ科目。
- ・マーケティング論を基礎とし、商品の具体的な流通方法に関する理論や現実の市場動向の分析、さらにはヒット商品が生まれる仕組みや企画方法などについて学ぶ科目。

・学納金

納付金種類	建築学科 スマートデザイン学科		総合経営学科	
	前期 (入学手続時)	後期	前期 (入学手続時)	後期
入学金	200,000 円	—	200,000 円	—
授業料	400,000 円	400,000 円	320,000 円	320,000 円
教育充実費	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
実習費	50,000 円	50,000 円	25,000 円	25,000 円
計	850,000 円	650,000 円	745,000 円	545,000 円

※上記の学納金その他、学生会費(8,500 円)、校友会(同窓会)費(9,000 円)、災害傷害保険料・健康管理料(3,500 円)、防災備蓄品(20,000 円)、卒業関連費用(30,000 円)が必要です。詳細は合格発表時に郵送する入学手続書類を確認してください

・対象奨学金(返済不要)

- 学業奨学金 S  
「全体の評定平均値」4.2 以上の方が対象 年額 40 万円×4 年=160 万円を給付
- 学業奨学金 A  
「全体の評定平均値」3.8 以上の方が対象 年額 20 万円×4 年=80 万円を給付
- 学業奨学金 B  
「全体の評定平均値」3.4 以上の方が対象 年額 20 万円(1 年次のみ)を給付

※「全体の評定平均値」とは全日制高等学校が発行する調査書に記載の「全体の評定平均値」  
 ※学業奨学金 S・A の 2 年次以降の継続は、決められた出席率と取得単位数が必要  
 ※総合型選抜Ⅲ期・Ⅳ期受験者は対象外

- スポーツ奨学金 S  
年額 50 万円×4 年=200 万円を給付(定員あり)  
該当クラブで特に顕著な実績を挙げ、かつ総合型選抜入試を受験した人が対象
- スポーツ奨学金 A  
年額 30 万円×4 年=120 万円を給付  
該当クラブで顕著な実績を挙げ、かつ総合型選抜入試を受験した方が対象
- スポーツ奨学金 B  
20 万円(1 年次のみ)を給付  
該当クラブで顕著な実績を挙げ、かつ総合型選抜入試を受験した方が対象

※入学後、強化指定部活動(硬式野球部(男子)、アーチェリー部、バレーボール部(男子)、ハンドボール部(男子))に入部することが条件となり、スポーツ奨学金申請書(および証明書類)を提出  
 ※スポーツ奨学金 S には給付人数に上限あり  
 ※スポーツ奨学金 S・A の 2 年次以降の継続は、決められた出席率と取得単位数、部活動状況による

[スポーツ奨学金の基準]

	硬式野球部（男子） バレーボール部（男子） ハンドボール部（男子）	アーチェリー部
スポーツ S	都道府県大会出場校の上位校 20%以内 の登録選手かつ本学監督がセレクション で指名した者	70m ラウンド公認競技会（72射合計 点）において、男子620点以上、女子6 00点以上を記録している者
スポーツ A	都道府県大会出場校の上位校 20%以内 の登録選手かつ本学監督がセレクション で指名した者	70m ラウンド公認競技会（72射合計 点）において、男子580点以上、女子5 60点以上を記録している者
スポーツ B	本学監督がセレクションで指名した者	本学監督が指名した者

・受験上および修学上の配慮について

本学に入学を希望する者で、障害（学校教育法施行令 22 条の 3 に定める障害の程度）等により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、それぞれの出願期間の開始日までに入試広報課へご相談ください。